

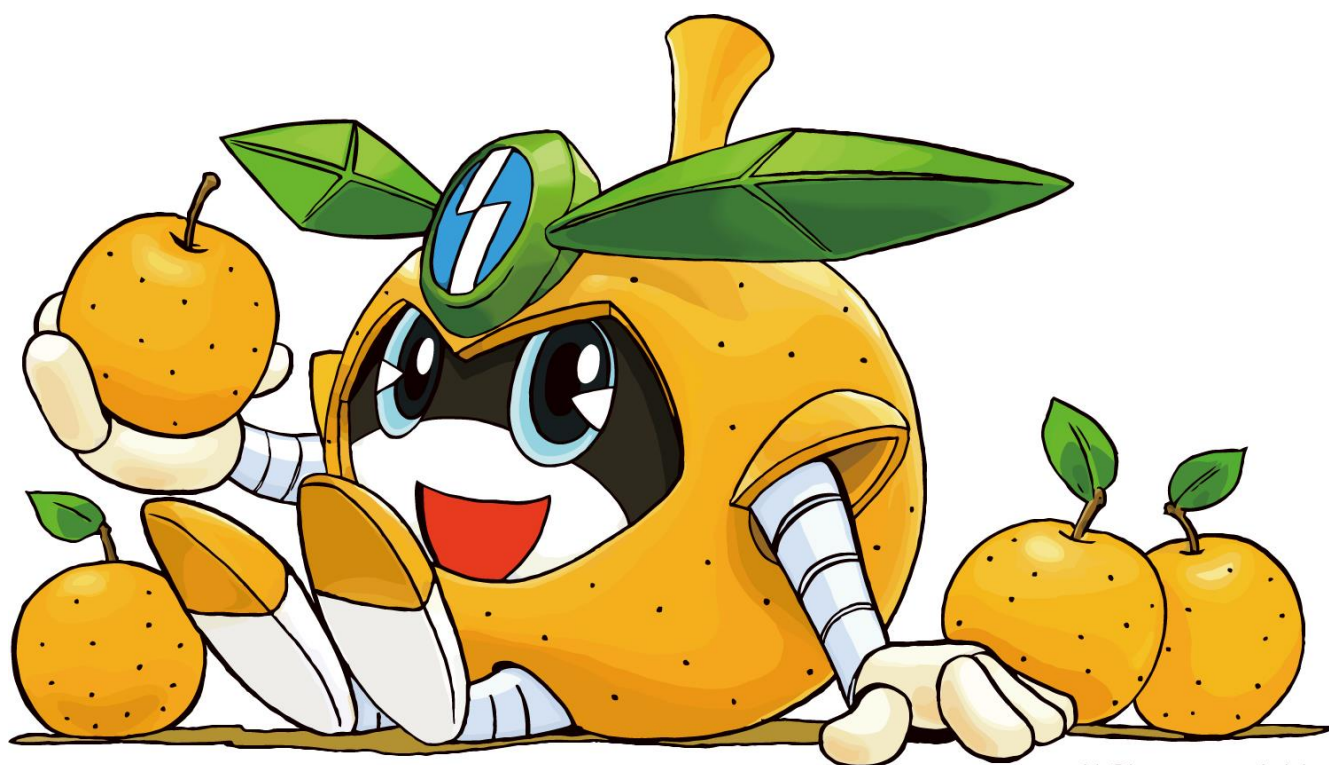
第二次稲城市子ども読書活動推進計画（平成 27 年度～31 年度）

本はともだち いなぎの子

第二次稲城市子ども読書活動推進計画

推進状況報告書

（平成 29 年度実績報告）



© K.Okawara・Jet Inoue

稲 城 市

稲城市では、第二次稲城市子ども読書活動推進計画(平成 27～31 年度)を策定しました。この計画は、『本はともだち いなぎの子』のキャッチフレーズのもとに、学校・家庭・地域・図書館が連携し、稲城市の子どもたちの読書活動を支援することを目的に施策をまとめています。

報告書では、平成 29 年度の施策の進捗状況をまとめました。

表の左側の「内容」は計画であげている施策(網掛けは重点施策)、右側の現況は 29 年度の実況になります。

- 評価の基準
- A 計画以上にできた
 - B 計画どおりにできた
 - C 概ね計画通りにできた
 - D できなかった

評価は稲城市子ども読書活動推進計画庁内連絡会にて行いました。

本はともだち いなぎの子 第二次稲城市子ども読書活動推進計画 一概要

読書は、言葉や感性を磨き、想像力を高め、創造力を豊かにします。そして、読書がもたらす楽しみは、子どもの生活を明るくし、生きることの喜びとなります。また、読書から得た幅広い知識は、課題解決の力となります。自ら学び、自ら楽しみ、人生をより深く「生きぬく力」を育むには読書は欠くことのできないものです。

稲城市では、5年間の第一次推進計画の期間を終え、平成27年度より、いよいよ第二次の計画期間に入ります。

第一次推進計画期間中には「iプラザ図書館開館による図書館網の完成」「ブックスタート事業の開始」「学校図書館活性化推進員の配置開始」などの大きな成果がありました。

第一次推進計画の「環境」「人材」「連携」「PR」の4つの柱を継続しつつ、第二次推進計画では「学校での読書活動の充実」「家庭・地域での取組み」「市立図書館での団体貸出の充実」を重点的取組みとしていきます。

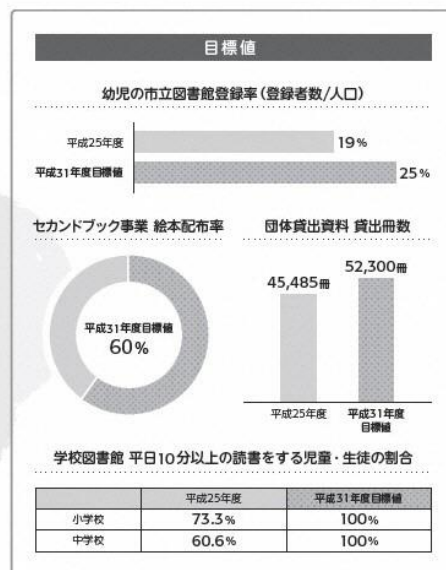
乳幼児期には、ブックスタート事業・セカンドブック事業を通して、家庭や地域での読書活動を支援し、学童期へつなげていきます。学校では様々な工夫と子どもへの効果的な働きかけを行いながら、学校での読書活動の充実・学校図書館の充実・学校図書館における学習情報センター機能の強化に取り組んでいます。また、市立図書館は子どもたちに直接本を貸出するだけでなく、団体貸出によって、学校や地域の読書活動を側面からもサポートしていきます。

第二次推進計画を指針とし、学校・家庭・地域・図書館が連携しながら、子どもの読書活動を推進していきます。

計画期間 平成27年度～31年度

対象 0歳から概ね18歳まで

計画の全文は、市と図書館のホームページで公開しています。
また、図書館では冊子版の貸出も行っています。



図書館報「ひばり」平成 27 年 4 月号より

学校での取組み

(1) 学校での読書活動の充実

網掛けは重点施策

所管課	内 容	評価	現 況
指導課	学校図書館運営推進委員会を充実し、学校の読書活動推進について、工夫・改善を行います	B	学校図書館運営推進委員会を年間3回実施し、各校の取組について情報交換し、より良い取組を共有することができています
	学校図書館運営推進委員会等における情報交換・研修を通じ、学校図書館活性化推進員活用方法の工夫・改善を行います	B	学校図書館運営推進委員が中心となり、学校図書館活性化推進員の取組内容を協議し、それをもとに各校で実践しています
	全教職員が子どもの読書への理解を深め、全校体制により読書活動を推進していきます	B	全小・中学校において、朝読書や読書月間、読書週間などの取組を行っています
	「稲城の子供に読ませたい本100選」の活用を工夫し、内容更新・継続配付を行います	B	「稲城の子供に読ませたい本100選」を有効活用しました
	市立図書館の団体貸出の利用促進を行います	B	学級文庫や教科指導の際に、団体貸出を積極的に利用しています
	1 年間計画の中に位置づけられた読書指導の充実を図ります 2 司書教諭・学校図書館活性化推進員を中心に、図書ボランティアの協力を得て朝読書・読み聞かせ・学級文庫設置など、読書に親しむ機会の充実を図ります 3 学級文庫設置など、読書に親しむ機会の充実を図ります 4 お便りや保護者会を通して保護者に読書の大切さを伝え、学校の読書活動について理解を促していきます 5 家庭での読書の大切さを保護者に伝えていきます	B	1 年間計画を年度ごとに見直し、改善を重ねて取り組んでいます 2、3 学校により、学校図書館活性化推進員や担任、担任以外の教員、管理職なども交代で読み聞かせを行っています 4 「図書館便り」等を活用し、保護者に周知しています 5 「学校便り」、「図書館便り」、学校公開の際等に、保護者に伝える機会の設定を工夫しています

(2) 学校図書館の充実

所管課	内容	評価	現況									
指導課	学校図書館活性化推進員を全校に配置します	B	全小・中学校に配置されており、学校図書館の充実に寄与しています									
教育 総務課	学校図書館情報化の検討を行います	B	パソコンによる蔵書管理を行っています。情報化については、引き続き、対応を検討していきます									
教育 総務課 指導課	・学校図書館の資料の充実に努めます ・学校図書館の運営計画に従って、図書ボランティアの協力等を得て、学校図書館整備を推進します ・組織的・計画的な学校図書館運営を目指します	B	学校図書館図書標準達成を目途に、図書、資料の充実に努めました 学校図書館の資料購入冊数 <table><tr><td></td><td>平成28年</td><td>平成29年</td></tr><tr><td>小学校(12校)</td><td>5,421</td><td>5,658</td></tr><tr><td>中学校(6校)</td><td>3,895</td><td>2,840</td></tr></table>		平成28年	平成29年	小学校(12校)	5,421	5,658	中学校(6校)	3,895	2,840
	平成28年	平成29年										
小学校(12校)	5,421	5,658										
中学校(6校)	3,895	2,840										

(3) 学校図書館における学習情報センター機能の強化

所管課	内 容	評価	現 況
指導課	1 調べ物のための資料の充実を図ります 2 各教科及び総合的な学習の時間等において、図書を中心とした資料を活用した授業を工夫します 3 学校図書館の年間利用計画とともに、市立図書館の利用計画を立て、効果的に図書館資料を使った授業を行います 4 市立図書館との連携を強化し、学習をバックアップしていきます 5 情報の活用に必要な知識や技術やモラルを段階的に教育します	B	1 古い情報の本を廃棄し、できるだけ新しい情報を得られる本に差し替える取組を行っています 2 各教科、総合的な学習の時間等において、小・中学校全校において活用しています 3、4 団体貸出や教科指導の補助教材等で市立図書館を計画的に活用しています 5 情報モラル、情報教育の各年間計画を作成し、実施しています

地域での取組み

(2) 地域での取組み

<地域文庫>

所管課	内 容	評価	現 況
図書館課	・地域文庫ならではのきめ細やかさで、地域の子どもたちに本の楽しさを伝えていきます ・おはなし会・アニマシオン・読書会などの行事を行います ・地域文庫連絡会をもち、稲城市の子ども読書活動推進のため連携を図り、図書館協議会への参加や広報紙を発行します ・「子どもの本の会」を主催し、児童書への知識の普及を図ります ・文庫まつりを開催し、子どもたちにおはなしの楽しさを伝えるとともに、各文庫の活動をPRし、文庫間の交流を深めます ・子ども読書活動推進のイベントに、実行委員として各地域文庫が参加します	B	・各文庫がそれぞれに地域で、本の貸出・読み聞かせなどを行うほか、「子どもの本の会」の運営を行い、協力して地域の読書活動を推進しました - 子どもの本の会 11回 109人 ・「本はともだち いなぎの子読書イベント」の展示部門に参加し、各文庫の活動紹介をしました ・稲城地域文庫連絡会の名称を「子どもの本の会」に変更しました。機関紙の発行・文庫まつりの開催は中止となりますが、「子どもの本の会」の運営、文庫や子どもの読書にかかわる人同士の情報交換等の活動は継続して行います

<地域の公共施設>

児童館の児童図書室（児童青少年課）

所管課	内 容	評価	現 況																			
児童 青少年課	・児童図書室の資料の充実に努めます ・児童図書室での読み聞かせを行います	B	・児童図書室の充実を図っています また読み聞かせについても実施しています																			
			読み聞かせの回数と参加人数																			
			<table><tr><td></td><td>平成28年度</td><td colspan="2">平成29年度</td></tr><tr><td></td><td>回数</td><td>人数</td><td>回数</td><td>人数</td></tr><tr><td>城山児童館</td><td>9</td><td>100</td><td>10</td><td>94</td></tr><tr><td>本郷児童館</td><td>10</td><td>124</td><td>11</td><td>92</td></tr></table>		平成28年度	平成29年度			回数	人数	回数	人数	城山児童館	9	100	10	94	本郷児童館	10	124	11	92
				平成28年度	平成29年度																	
				回数	人数	回数	人数															
城山児童館	9	100	10	94																		
本郷児童館	10	124	11	92																		

学童クラブ（児童青少年課）

所管課	内 容	評価	現 況
児童青少年課	・活動の中に読書・読み聞かせを取入れます ・育成室に図書コーナーを設置します	B	・活動中において、読書の時間を設けるとともに、読み聞かせも実施しています ・また、図書コーナーについても、設置しています

稲城ふれあいの森（児童青少年課）

所管課	内 容	評価	現 況
児童青少年課		B	・自然の中で絵本の読み聞かせを行います。 ・年間10回、森のたからばこを開催し、その中のおはなし会の中で、来場している子どもたちのために絵本の読み聞かせを実施しています

公民館（生涯学習課）

所管課	内 容	評価	現 況
生涯学習課	・子育て関連の講座の中に絵本や読み聞かせを取入れます ・子どもの読書に関するグループ活動を支援します ・公民館保育室の絵本コーナーの充実を図ります	B	・公民館主催講座「親と子の教室（中央・第三・城山で実施）」において、幼児期の心を育てる絵本についての講義を図書館課職員の派遣を受けて実施しています ・公民館登録団体として活動する団体は減少しています ・リサイクル図書を積極的に利用しています ・平尾古民家にて、日本の昔ばなしを題材としたストーリーテリングや紙芝居などのおはなし会を開催しました

子ども家庭支援センター（子育て支援課）

所管課	内 容	評価	現 況
子育て支援課	・絵本コーナーの充実を図ります ・子育ての中での読み聞かせの大切さを伝えます ・子育てサポート事業の中で、読み聞かせを取入れます	B	・子ども家庭支援センターあそびの広場では、図書館の団体貸し出しを積極的に利用し、毎月、歳児ごとの「絵本大好き」の日に絵本や紙芝居の読み聞かせを行っています ・月2回各児童館やiプラザで行っている出張遊びの広場で絵本の読み聞かせを行ない読み聞かせの大切さを伝えています ・子育てサポーターの日で月1回各児童館やiプラザで絵本の読み聞かせを行っています ・図書館事業の「絵本コーナー用貸し出しセット」を子ども家庭支援センターや子育てサポーターで利用しています

保健センター（健康課）

所管課	内 容	評価	現 況
健康課	・図書館のブックスタート事業に協力していきます ・待合室の絵本の充実を図ります	B	・ブックスタート事業に協力しています ・リサイクル絵本を活用して、幅広いジャンルの絵本の充実に努めています

(3) 保育園・幼稚園・認定子ども園等での取組み

網掛けは重点施策

所管課	内 容	評価	現 況
子育て支援課	日常の保育・教育の中で年齢にあった絵本などの読み聞かせを取入れます	A	読み聞かせをしている 21園/21園中 全園で乳幼児期の年齢に応じた読み聞かせを積極的に行いました また、年に数回ボランティアの方による読み聞かせなども行いました
	絵本を通して、子どもたちの心や言葉を育てます	A	季節や行事に関する絵本や、国が推奨する絵本なども取り入れることで、子どもたちの成長発達に寄与するとともに、情緒を促すことができました 21園/21園中
	園便りや保護者会等をとおして、保護者におすすめの絵本の紹介をしたり、読書の楽しさや大切さを伝えていきます	B	園便りに絵本を紹介している 16園/21園中 保護者会等で絵本の紹介をしている 15園/21園中 保護者に読書の楽しさや大切さを伝えることで、読書への関心がもて、より親子の絆を深めることができました
	図書コーナーやクラスの本を整備、充実していきます	B	図書コーナーがある 20園/21園中 クラスに本棚がある 21園/21園中 貸出をしている 18園/21園中 全園、各クラスに本棚を設置することで、子どもたちの読書への関心に繋げることができました

市立図書館での取組み

(1) 読書環境の整備

網掛けは重点施策

所管課	内容	評価	現況					
図書館課	子どもの読書環境を広く整えるため、関連施設への、団体貸出を充実させます	A	・団体用図書の予算比率を高め、資料の整備に努めています ・配送の範囲を、学校だけではなく、学童クラブ・幼稚園・保育園等に広げ、利便性を図っています					
	・定期的に資料を補充し、図書館資料の充実を図ります ・子どもの多様な興味にこたえられるよう、幅広い分野の資料をそろえ、子どもにとって魅力のある活き活きとした蔵書にします ・児童コーナーを居心地の良い空間とします ・展示スペースを活用し、本の紹介を行います	B	・毎週新刊図書を受け入れし、いきいきとした蔵書を保つよう努力しています ・各館、工夫を凝らした展示を行っています <table><tr><td></td><td>平成28年</td><td>平成29年</td></tr><tr><td>購入冊数</td><td>5,881</td><td>5,872</td></tr></table>		平成28年	平成29年	購入冊数	5,881
	平成28年	平成29年						
購入冊数	5,881	5,872						

(2) 司書の配置と役割

所管課	内容	評価	現況						
図書館課	・図書館に児童サービスの専門知識をもった司書有資格者を配置していきます ・図書館職員を対象とした児童サービスに関する研修に定期的に参加します ・児童サービスを担当する司書は、児童書の選書を行い、本の紹介や展示により、読書への興味を引き出す働きかけを行っていきます ・子どもたちと直接触れ合う児童フロアでの働きかけを大事にしています ・子どもへの読書相談・レファレンスを行います	B	・各館に司書資格を持った、職員・スタッフを配置しています ・各種研究会・研修に積極的に参加するようにしています ・児童図書の選書は、毎週各館の担当が集まり、実物を見ながら検討し選書を行っています						
			<table><tr><td></td><td>平成28年</td><td>平成29年</td></tr><tr><td>司書率(パートを含む)</td><td>87.0%</td><td>85.6%</td></tr><tr><td>レファレンス</td><td>206</td><td>174</td></tr></table>		平成28年	平成29年	司書率(パートを含む)	87.0%	85.6%
	平成28年	平成29年							
司書率(パートを含む)	87.0%	85.6%							
レファレンス	206	174							

(3) ブックスタート事業

所管課	内 容	評価	現 況
図書館課	3～4か月児健診において、ブックスタート事業を行い、赤ちゃん絵本を楽しむ生活を応援します	B	ほぼ全員の赤ちゃんに絵本を手渡しています 平成29年度の配布率98.3%
	「ブックスタート事業」を発展させ、3歳児健診に年齢別のおすすめ図書リストを配付し、その後の読書を支援します	B	健康課と連携して絵本のリスト、登録申請書等を配布して、図書館の利用を啓発しています
	セカンドブック事業の導入を検討します	C	セカンドブックの情報収集を行いました

(4) おはなしの普及・本の紹介

所管課	内 容	評価	現 況
図書館課	・「えほんのじかん」・「おはなし会」等の行事を行います ・ブックトーク等を行い、本への興味を引き出します ・季節の展示を行い、本を紹介します ・年齢別の各種おすすめ本リスト、新着案内等を発行配布します	B	・市内どの地域に住んでいても身近にお話を楽しめるよう、全館で読み聞かせの行事を行っています ・年齢別や施設別の各種リストを発行し、図書館や施設に配布しました

(5) 学習支援

所管課	内 容	評価	現 況
図書館課	・主題の図書(絵本・おはなし以外の分野の図書)を充実させます ・図書館利用教育に力を入れます ・子どもが自ら調べる手助けをします ・レファレンス(調べもの支援)を行います ・学校と連携し、各教科及び総合的な学習の時間等に活用できる資料を提供します ・子どもホームページで、学習支援をしています	B	・中学校の要望で必要な調べ学習の資料を購入しました ・子ども向けの調べもの講座「秋の図書館何でも調べ団」を実施しました ・稲城第七小へ図書館利用案内を兼ねたブックトークを行いました ・稲城の昔ばなし紙しばい『舌をぬかれたお獅子』を印刷し市内全小学校に配布しました

(6) ヤングアダルトサービス

所管課	内 容	評価	現 況						
図書館課	・ヤングアダルトコーナーの充実とともに一般書、AV資料、雑誌などにも若い世代に受け入れられる資料を積極的に取り入れていきます ・中高生が編集に参加できるヤングアダルト向けの機関紙を発行し、情報を発信していきます ・読書相談・レファレンスサービス(調べもの支援)を行います ・読書・調べ物ができるスペースを提供します ・資料検索・情報検索の講座を行います ・中学生へのブックリストを作成し配布します ・学校をとおして図書館利用案内や機関紙を配布するなど、学校と連携して読書活動を推進していきます	B	・中高生ボランティアを書き手としたYA機関紙「ポルターダ」を発行しました ・ビブリオバトルのイベントを開きました ・英語多読のイベントを開き大勢の参加し好評でした						
	<table><tr><td></td><td>平成28年</td><td>平成29年</td></tr><tr><td>購入冊数</td><td>568</td><td>527</td></tr><tr><td>貸出冊数</td><td>63,320</td><td>60,052</td></tr></table>			平成28年	平成29年	購入冊数	568	527	貸出冊数
	平成28年	平成29年							
購入冊数	568	527							
貸出冊数	63,320	60,052							

(7) 特別な支援を必要とする子どもへのサービス

所管課	内容	評価	現況									
図書館課	・希望図書を音訳します ・マルチメディアデジターの活用を図ります ・「布絵本」を収集します ・外国語の児童書を収集します	B	・稲城の子どもに読ませたい本100選の中からデジター図書に音訳しました ・LLブックを積極的に購入しました ・読書イベントで音訳グループペアを紹介し、デジター図書の体験も行いました <table><tr><td>購入冊数</td><td>平成28年</td><td>平成29年</td></tr><tr><td>布絵本</td><td>7</td><td>4</td></tr><tr><td>外国語</td><td>8</td><td>12</td></tr></table>	購入冊数	平成28年	平成29年	布絵本	7	4	外国語	8	12
購入冊数	平成28年	平成29年										
布絵本	7	4										
外国語	8	12										

(8) ボランティアの育成・子どもの読書活動にたずさわる人々への支援と連携

所管課	内 容	評価	状 況
図書館課	・図書館ボランティア・音訳ボランティア等育成のために研修を行います ・読み聞かせ・ブックトーク・ストーリーテリング等、子どもと本を結びつける技術の研修を行い、図書館職員・関係機関職員・ボランティア・子どもの読書にかかわる地域の中に技術の持った人を増やしていきます ・市民の読み聞かせ活動で利用できるよう、集会行事の作品を貸し出します ・学校等で読み聞かせを行っている保護者や地域の人々を支援します ・子どもの読書・読み聞かせに関するコーナーを設置します ・稲城地域文庫連絡会主催の「子どもの本の会」に職員を派遣し、新刊絵本の紹介をします ・子どもの読書関係者の連絡会を主催します	B	・奇数月に読み聞かせボランティアの定例会を開き、技術や知識をみがきました ・読み聞かせボランティアの新人を募集し、5人が新たに登録しました ・制作ボランティアに稲城の昔ばなし紙芝居3作を作成中です ・ボランティア養成講座「ピカピカ隊になってみよう」を開催し、団体貸出用の資料の清掃を行いました

(9) 子どもの読書活動推進のPR

網掛けは重点施策

所管課	内 容	評価	現 況
図書館課	乳幼児の保護者に対する読書活動への啓発に力を入れます	B	読み聞かせ行事「おひぎにだっこのおはなし会」等で乳幼児を持つ保護者に働きかけるほか、「プレママおはなしかい」を開き、読み聞かせの楽しさを伝えました
	・「本はともだち いなぎの子」をキャッチフレーズに子どもの読書活動を推進していきます ・読書週間や子ども読書の日(4/23)などに読書の楽しさを伝えるイベントを行います ・子ども向けホームページをとおり、情報を発信します ・ヤングアダルト(中高生)向けの機関紙を発行・配布します ・職場体験の受入れ・一日図書館員をとおり子どもたちの図書館への理解を高めます ・宅配便講座等をとおり保護者に、子どもにとっての読書の大切さを伝えていきます ・子どもの読書についての講座を企画し、読書への理解を広めます ・読書記録ノート「よむよむノート(であいマップ付き)」を作成・配布します ・親と子どもがいっしょに読書活動を楽しめる企画・講座を行います	B	・としょかん1ねんせいパックを市内の小学1年生全員に配布しました ・さまざまな機会に読書通帳を紹介し、通帳を1,678冊発行しました ・読書週間(11/3)に本はともだちいなぎの子読書イベントを開き、延べ700人以上の参加があり、親子に読書の楽しさを伝えることができました ・なしのすけシールラリーを冬から春休みにかけて行い、延べ1,666人の参加がありました

第二次稲城市子ども読書活動推進計画目標値

1. 幼児の市立図書館登録率（登録書数／人口） 目標値 25%

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
登録者数	1,231	1,311	1,822	2,011		
登録率	20.8%	22.1%	30.8%	33.4%		

2. セカンドブック事業 絵本配布率 目標値 60%

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
配布率	—	—	—	—		

3. 団体貸出資料 貸出冊数 目標値 52,300 冊

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
貸出冊数	46,848	50,909	51,934	53,596		

4. 学校図書館 平日 10 分以上の読書をする児童・生徒の割合 目標値 100%

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
小学校	73.3%	70.3%	63.8%	68.7%		
中学校	60.6%	54.1%	50.0%	57.5%		

第二次稲城市子ども読書活動推進計画
推進状況報告書(平成 29 年度実績報告)

平成 30 年8月

発行 稲城市

(事務局) 稲城市立図書館
〒206-0803 東京都稲城市向陽台 4-6-18
TEL 042-378-7111
稲城市立中央図書館
<http://www.library.inagi.tokyo.jp/>